

NETGEAR[®] インストールガイド

NETGEAR[®] ReadyNAS[™] 4200

基本セットアップと構成

本ガイドの手順に従って、NETGEAR ReadyNAS 4200 をインストールしてください。



想定所要時間 : 20 分

注意: ここでの説明は、工場出荷時の X-RAID2 ディスク構成を使用していることを前提としています。ディスクがあらかじめインストールされていないユニットについては、ディスクをインストールし、RAID を初期化しておく必要があります。対応ディスクについては http://www.readynas.com/ja/?page_id=82 を参照してください。ディスクのインストールと RAID の構成についての説明は、[ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

警告: インストールされているディスクにより、ユニットは 36 kg を超える場合があります。移動させる必要がある場合は、二人以上で作業してください。

RAIDar ユーティリティのインストール

1. 製品の [インストール CD](#) から RAIDar ユーティリティを、PC にインストールしてください。Windows、MAC、Linux バージョンの RAIDar があります。

本体を接続し、ログイン

1. 本体をセットアップするには、ReadyNAS の LAN Ethernet ポートをネットワークに接続し、電源を入れてください。起動には 1 分程度かかります。工場出荷時の初期設定は、DHCP で IP アドレスを取得するようになっています。
2. RAIDar ユーティリティを実行します。RAIDar を実行する PC と ReadyNAS4200 は、同じ IP サブネットに存在する必要があります。
ヒント: ReadyNAS 4200 に必ず同じ IP アドレスが割り当てられるよう DHCP サーバで設定しておく、管理がしやすくなります。

3. **[設定]** ボタンをクリックし、ReadyNAS 4200 の FrontView 画面をウェブブラウザで起動します。ログイン画面が表示されます。初期設定のユーザ名は **admin**、パスワードは **netgear1** です。

ログインすると、FrontView ユーティリティのホームページが表示されます。



セットアップウィザードを実行する

セットアップウィザードを利用して、基本的な設定を行います。

注意: セットアップ・ウィザードをスキップする場合は、警告メールアドレスを別途設定し、管理者パスワードの変更などを行い、パスワードリカバリの質問を設定してください。

1. 工場出荷時には、セットアップウィザードが有効になっています。**[次へ]** をクリックしてウィザードを進めます。



2. **[時計]** タブのページで初期設定のタイムゾーン、時刻、NTP オプションを設定します。**[次へ]** をクリックして進みます。



3. **[警告]** タブのページで、少なくとも 1 つのメールアドレスをシステム警告用に入力してください。**[次へ]** をクリックして進みます。

4. **[イーサネット]** タブページで、IP アドレスを設定するか、初期設定のまま DHCP を選択します。**[次へ]** をクリックして進みます。

5. **[グローバル設定]** タブページで、ユニットのホスト名を変更することができます。また、静的 IP 構成を使用する場合、デフォルトゲートウェイと DNS を設定必要があります (初期設定のまま DHCP を使う場合、これらの設定を変更する必要はありません)。**[次へ]** をクリックして進みます。

6. **[管理者パスワード]** ページで、システムログインパスワードを変更し、リカバリの質問、回答、メールアドレスを入力してください。質問と回答が分からなくなると、パスワードのリカバリができなくなりますので、注意してください。**[次へ]** をクリックして進みます。



7. **[セキュリティモード]** タブのページで、ユーザーやグループアカウントに基づき共有へのアクセスを制限する **[ユーザー]** の初期設定オプションを設定します。FrontView は、ネットワークで検出した最初のグループ名を使用しようとしています。見つからない場合、初期設定の「VOLUME」をワークグループ名として使用します。NAS 本体を追加するワークグループ名を指定してください。**[次へ]** をクリックして進みます。

8. **[アカウント]** タブページで **[ユーザーの追加]** をクリックします。新しいユーザーとユーザーパスワードを追加します。**[次へ]** をクリックするとウィザードが終了します。アカウントのセットアップに関する詳しい説明は、[ReadyNAS 4200 ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

注意: バックアップ、ストリーミングメディアサーバー、プリンタ、VLAN、ユーザーアカウントやクォータなどのオプションの構成については [ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

共有ストレージへのアクセス

工場出荷時の設定では、次のファイル共有プロトコルが有効になっています。

CIFS、AFP (Bonjour と ATP の両方でアドバタイズ)

HTTP/S、FTP、NFS および Rsync をお使いになる場合は、別途有効にする必要があります。

Linux や Unix ワークステーション、ドライブマッピング、およびその他のファイル共有オプションに関する詳細は、[ReadyNAS 4200 ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

Windows PC からのアクセス共有

1. Windows で共有の一覧を見たいときは、RAIDar で [ブラウザ] をクリックするか、エクスプローラのアドレスバーに **¥¥<ip_address>** または **¥¥<hostname>** と入力します。

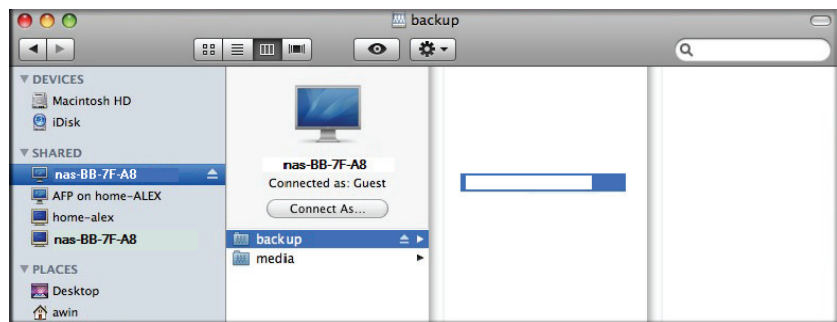
アドレス 移動

2. ユーザ名とパスワードを入力して ReadyNAS に接続します。Windows エクスプローラが ReadyNAS 共有の内容を表示します。



MAC OS X から共有にアクセスする

1. OS X で、AFP を通して同じ共有にアクセスするには、[Finder] を開き、[共有] セクションで ReadyNAS ホスト名を確認してください。
2. ホスト名をクリックし、共有を表示します。



操作上のヒントと注意点

以下のガイドラインに従い、スムーズな操作を行ってください。

電源ボタンの操作

ユニットを起動する際は、約1分かかります。ユニットの電源を切る際は、前面の電源ボタンを2度押してください。これで正常なシャットダウンができます。電源を切る際のオプションについては、[ReadyNAS 4200 ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

設置場所

排熱用の通気孔がふさがれない場所に設置してください。

UPS の使用

無停電電源装置 (UPS) を利用すると、停電発生時でも ReadyNAS 4200 を正しく自動シャットダウンできます。UPS の使用については、[ReadyNAS 4200 ユーザーマニュアル](#)を参照してください。

FrontView のステータス情報

FrontView 設定ユーティリティの下方には、ディスク、ファン、温度、UPS (あれば) の状態を示すカラーステータスランプがあります。ステータスランプをダブルクリックすると、詳細が確認できます。

データ保護とボリューム拡張

工場出荷時に6台以上のディスクを搭載されている ReadyNAS 4200 は、あらかじめ X-RAID2 で構成されており、同時に2台までのディスク障害に対して保存データを保護することができます。

既存ディスクと同じかそれ以上の容量のディスクを追加したり、既存ディスクをより大きい容量のディスクに交換することで、データ格納領域を拡張することができます。

X-RAID2 では、それらの作業を、ReadyNAS をご使用中でも行えます。

複数のディスクを追加・交換する場合は、1台ずつ行い、既存ディスクとの同期が完了したのを確認してから、次のディスク追加・交換を行ってください。

同期作業の進捗は、FrontiView で確認できます。また、同期が完了すると、警告メール用に設定したアドレス宛に、通知されます。

テクニカルサポート

本製品の底部に張られたシリアルナンバーを確認し、<http://www.netgear.jp/registry/>にて製品を登録してください。電話によるサポートサービスを受けるには、ウェブサイトまたはお電話による事前登録が必要です。世界各地のカスタマーサポートセンターの電話番号は、本製品付属の保証およびサポート情報カードに記載されています。ウェブサイト <http://www.netgear.jp/supportInfo/> で製品のアップデートおよびウェブサポートに進んでください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A



この記号は、欧州連合 WEEE (廃電気・電子製品) 指令 2002/96 に基づいて記載されています。欧州連合内で廃棄する場合、本製品は WEEE 指令を実施する管轄地域の法令に基づき、処理およびリサイクルする必要があります。

© 2010 by NETGEAR, Inc. All rights reserved. NETGEAR および NETGEAR ロゴは、米国およびその他の地域における NETGEAR 社の登録商標です。その他のブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。本書に記載される情報は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。



201-12489-01



2010年3月